



薬剤科 科長 石田良樹

当院は、明治 22 年に設立され、120 年余という県内でも有数の歴史のある病院です。病院の目の前には横手川、後方には横手公園を拝し、一説には石坂洋次郎の小説でのちに映画化された「山と川のある町」のモデルとなったといわれる当地に相応しいロケーションとなっております。古くからの歴史がありながらも、常に進歩を続ける病院でありたいと病院機能評価認定にも早くから取組み、平成 8 年の試験運用を秋田県で初めて受審しています。これから 3 回目になる審査を平成 22 年に受審し認定更新をいただいております。

病床数は、229 床（一般病床 225 症、感染病床 4 床）診療科目は内科（内科、頭痛・脳神経内科、血液内科、神経内科）、消化器内科、アレルギー科、呼吸器内科、循環器内科、心療内科、外科、整形外科、小児科、産婦人科、泌尿器科、眼科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科となっております。

薬剤師数 6 名で様々なチーム医療へ参加し、診療科や看護科、事務部門等からの日々増大する要望に応えるのは結構なハードワークですが、効率化を推進し日々新しい業務への挑戦を続けています。最近では医療事故の多くを占める薬剤事故に対する薬剤師への期待が高まっており医療安全管理の業務も増えてきています。そのような環境下で注視しているのが電子カルテの可能性です。当院では県内の病院の中では比較的早くから電子カルテをはじめとする I T 化を推進してきました。電子カルテは業務効率の改善のみならず薬剤事故の防止や適正使用に大きく貢献するものと考え電子カルテによる様々な取組や管理も薬剤部門の重要な仕事の一つとなっております。

当院は決して大きな病院ではありませんが、中小病院ならではの機動性や診療科の垣根が低いコミュニケーションの良さは大きな強みになっていると思います。これからも広く地域の皆様から信頼される病院作りを目指し、「安心できる良質な医療の提供」と「心ふれあう人間味豊かな対応」に一層の努力を重ねてまいります。

